



2001年4月22日(日)

報道関係各位

2001 NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦
2001 I T Uトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会

レース速報

開催地：沖縄県石垣市

開催日：2001年4月22日(日)

主催：2001 I T Uトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会 & 2001 石垣島ファミリー
トライアスロン大会組織委員会(石垣市、(社)日本トライアスロン連合(J T U))
沖縄テレビ放送、日刊スポーツ新聞社)

公認：国際トライアスロン連合(I T U)

特別協賛：NTT西日本

優勝は女子がロレッタ・ハロップ、男子がイワン・ラ・ニャ

NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦、2001 I T Uトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会が4月22日(日) 沖縄県石垣島で行われ、先週の2001 I T Uトライアスロン・ワールドカップ蒲郡大会に続き、世界各国から有力選手61名が出場し、白熱したレースが展開された。

女子のレースを制したのは、ワールドランキング1位、99年の本大会チャンピオン、ロレッタ・ハロップ(A U S)。2位には最後までハロップとデッドヒートを繰り広げたバーバラ・リンクイスト(U S A)。3位には同じくアメリカのシリ・リンドリーが入った。

期待の日本人選手は、9位に中西真知子(N T T東日本)入り、蒲郡大会に続き日本人トップ。スイムで出遅れた関根明子(N T T東日本・N T T西日本)はランで追い上げ、11位でフィニッシュした。

引き続き行われた男子は、ワールドランキング15位でシドニーオリンピック5位入賞のイワン・ラ・ニャ(E S P)がワールドカップ初優勝。2位にはクレイグ・ワトソン(N Z L)、3位にワールドランキング1位のハミッシュ・カーター(N Z L)とニュージーランド勢が入った。

日本勢では、山本淳一(シャクリー・稲毛 I T C)が28位で日本人選手トップだったほか、竹内鉄平(アラコ)が31位。シドニーオリンピックに出場した西内洋行(チームテイケイ)は34位という結果だった。



【女子】ロレッタ・ハロップ、99年以来2度目の石垣島チャンピオンに！

午後1時、コーラルブルーの海に飛び出した22名のトップアスリートたち。スイムをトップでフィニッシュしたのはリンクイスト。22秒遅れで続くのは、ハロップ、先週のワールドカップ蒲郡大会チャンピオンのローラ・レバック（USA）、昨年の本大会優勝のリナ・ヒル（NZL）。バイクに入りヒルが出遅れ、3名が先頭集団を形成すると、周回ごとに後続集団との差を広げてそのままランへ突入。トランジションで遅れたレバックに差をつけリンクイスト、ハロップが3周回のランを常に並走し、そのまま大観衆の待つフィニッシュゲートへ。最後の力を振り絞り、リンクイストを引き離れたハロップが見事1時間56分45秒で優勝を飾った。「強豪選手ばかりだったが、力を出し切って頑張れた。大好きな日本で優勝できて本当に嬉しい」と99年以来の本大会優勝を喜んだ。

また蒲郡大会に続き日本人トップ、9位でフィニッシュした中西は「トップ10に入れたことは自分でも満足している。さらに上を目指して頑張ります」とコメント。

【男子】シドニーオリンピック5位の実力派、イワン・ラーニャがワールドカップ初優勝！

女子に続き行われた男子では、ワールドランキング1位のカーターがレースを引っ張る展開となった。カーターを中心に13名の大集団でスイムをフィニッシュ。バイクに入ると23名の第1集団を形成し周回を重ねると、最終周にカーター、グレッグ・ベネット（AUS）、ビーバン・ドシャ・ティ（NZL）が抜け出しランへ。

カーターがトップを維持しつつも後にはドミトリー・ガグ（KAZ）、ワトソンなどがカーターを追い、3周回のランが優勝争いの舞台となった。

そしてドラマは3周目にやってきた。ここまで第2集団につけてきたラーニャがスピードを上げトップに追いつくと、ワトソン、ラーニャのデッドヒートとなり、ついにフィニッシュ500m手前でラーニャがトップに。そのまま一気にフィニッシュゲートへ。見事ラーニャが1時間46分17秒でワールドカップ初優勝を飾った。

昨年の本大会で4位だったラーニャは「ワールドカップで優勝したことを心から喜びまた誇りに思う。8月に開催されるワールドカップ山口きらら博大会にも出場し、良い結果を残したい」とコメントした。

日本人トップながら総合28位でフィニッシュした山本は「スイムで出遅れたのが痛かった。今後はトップ集団に入れる泳力をつけることが目標です。5月のアジア選手権では最高のパフォーマンスを見せる」と力強いコメントを残した。



女子リザルト

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	1	ロレッタ・ハロップ	25	1時間56分45秒	AUS
2	3	パーバラ・リンクイスト	31	1時間56分47秒	USA
3	6	シリ・リンドリー	31	1時間58分16秒	USA
4	7	ローラ・レバック	25	1時間58分37秒	USA
5	2	ステファニー・フォレスタ	31	1時間59分22秒	GBR
6	20	リズ・ブラッチフォード	21	2時間00分04秒	AUS
7	5	リナ・ヒル	31	2時間00分43秒	NZL
8	11	ミシェル・デイロン	27	2時間00分45秒	GBR
9	9	中西 真知子	24	2時間00分48秒	NTT東日本
10	12	ピラール・イダルゴ	21	2時間00分55秒	ESP
11	17	関根 明子	25	2時間01分36秒	NTT東日本・NTT西日本
14	16	庭田 清美	30	2時間03分05秒	アシックス
15	15	大松 沙央里	19	2時間04分09秒	日本女子体育大学
17	14	枇杷田 深雪	22	2時間05分10秒	ニデック
19	21	中川 絵理	19	2時間06分09秒	愛知県協会
20	25	下村 真紀	25	2時間09分56秒	チームテイケイ練習生

男子リザルト

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	14	イワン・ラ・ニャ	21	1時間46分17秒	ESP
2	9	クレイグ・ワトソン	29	1時間46分19秒	NZL
3	1	ハミッシュ・カーター	29	1時間46分35秒	NZL
4	30	シルバン・ドッド	26	1時間46分40秒	FRA
5	2	ドミトリー・ガグ	30	1時間46分52秒	KAZ
6	4	アンドリュウ・ジョーンズ	27	1時間47分12秒	GBR
7	6	ティム・ドーン	23	1時間47分16秒	GBR
8	3	クリス・マコ・マック	28	1時間47分26秒	AUS
9	20	ラスムス・ヘニング	25	1時間47分28秒	DEN
10	11	トレント・チャプマン	24	1時間47分33秒	AUS
28	19	山本 淳一	27	1時間50分10秒	シャクリー 稲毛 ITC
31	25	竹内 鉄平	24	1時間50分22秒	アラコ
32	42	山本 良介	21	1時間51分24秒	京都府協会
34	32	西内 洋行	25	1時間54分36秒	チームテイケイ
35	39	益田 大貴	21	1時間58分59秒	NITTOH TEAM KEN'S A&A
36	41	狩野 智彦	17	2時間00分58秒	渋川高校



【JTUジャパンランキング】

女子QF係数：1.96

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	319	中西 真知子	NTT東日本
2	196	大松 沙央里	日本女子体育大学
3	180	庭田 清美	アシックス
4	157	関根 明子	NTT東日本・NTT西日本
5	152	枇杷田 深雪	ニデック
6	88	下村 真紀	チームテイケイ練習生
7	59	中川 絵理	愛知県協会

男子QF係数：1.90

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	352	山本 淳一	シャクリー 稲毛 ITC
2	282	竹内 鉄平	アラコ
3	176	西内 洋行	チームテイケイ
4	125	益田 大貴	NITTOH TEAM KEN'S A&A
5	114	山本 良介	京都府協会
6	97	斎藤 大輝	アラコ
7	89	狩野 智彦	渋川高校
8	65	田山 寛豪	流通経済大学
9	24	平野 司	東豊中高校

〔気象状況〕 12時30分現在

天気：曇り 気温：25.0 水温：24.4 風向・風速 北北東・6.3m 観衆：22,000人

参加選手61名(男39名・女子22名)

